

現代教養講座



生涯学習のマスコット「マナビイ」
デザイン：石ノ森章太郎

(放送県民大学)

受講無料

愛媛県では、県民のみなさまに豊かな教養と創造力を培っていただくため、現代教養講座(放送県民大学)を下記の県下3会場で開催します。各会場ごとに講座に関する映像をご覧いただき、愛媛大学の先生方による講座を受けて、知識を深めていただきます。

受講者募集

中予会場 松山市



愛媛大学 南加記念ホール

- ◆ 開講時間 / 18:00 ~ 21:00
- ◆ 定員 / 各150名

※ 駐車場の数が限られております。公共の交通機関をご利用ください。

東予会場 新居浜市



愛媛県 総合科学博物館

- ◆ 開講時間 / 13:30 ~ 16:30
- ◆ 定員 / 各60名

南予会場 西予市



愛媛県 歴史文化博物館

- ◆ 開講時間 / 13:30 ~ 16:30
- ◆ 定員 / 各60名

8/24 (金)

アイヌ民俗の心の詩 <ユーカラ>を伝えた人々

～金田一京助と知里幸恵～
愛媛大学特命アンバサダー(元国際担当副学長)
愛媛大学法文学部 教授 清水 史

10/21 (日)

仮想通貨の仕組みと活用方法

ービットコインだけではない仮想通貨の世界ー
愛媛大学法文学部 准教授 近廣 昌志

9/8 (土)

夏目漱石と現代人

～「坊っちゃん」を中心に～
愛媛大学法文学部 准教授 秋山 英治

学び舎えひめ

9/28 (金)

明治150年 日本は今

～政界から相撲界まで～
愛媛大学国際連携推進機構
客員教授 木藤 隆雄

11/18 (日)

草原の遊牧民

～モンゴルの発掘現場から～
愛媛大学法文学部 准教授 笹田 朋孝

学び舎えひめ

10/27 (土)

定家の和歌論と「もの」の見方

愛媛大学 非常勤講師
聖カタリナ学園高等学校 教諭 田中 千晶

10/12 (金)

グローバリゼーション

～経済的次元を中心に～
愛媛大学法文学部 教授 松井 隆幸

12/9 (日)

北朝鮮の文化財にみる 朝鮮半島文化とその表象

愛媛大学法文学部 教授 池 貞姫

学び舎えひめ

11/17 (土)

難民問題に対する 国際連合の取り組み

愛媛大学法文学部 教授 檜林 建司

学び舎えひめ

講師の紹介

中予会場



清水 史
(しみず ふみと)

神奈川県出身。法文学部教授。元国際連携担当副学長。現在、特命アンバサダーを兼務。専攻は日本語学。日中音韻学交渉史及び愛媛の方言を研究。

我々の祖先がやまと言葉を漢字で記す術を手に入れたのは奈良時代である。平安時代の古語拾遺という書物には文字優位主義のような考えがみえるが、果たしてそういえるのだろうか。世界には文字を持たない民族が少なからずいる。日本列島に暮らすアイヌ民族もそのひとつである。そこにはユーカラという書かれざる詩が語り継がれている。ここではそのユーカラのすばらしさとその価値を見出した人々の苦勞をお伝えすることとしたい。



木藤 隆雄
(きとう たかお)

愛媛県出身。ニッポン放送アナウンサーを経てフリー。現在、愛媛朝日テレビのニュースコメンテーターの他、川柳番組にも出演。愛媛大学国際連携客員教授。

明治150年。先進国の仲間入りをしたはずの日本に、ほころびが目立ち始めました。言葉が軽くなり、信頼性に欠ける政治家。公文書を改ざんし、情報公開どころか隠れに走る官僚。又、相撲界に始まり、スポーツ界でも不祥事続き。日本全体が停滞してしまっている様です。原因はどこにあるのでしょうか。ラジオアナウンサーとしてスタートして以来、放送の現場で情報を伝えてきた立場から語ってみたいと思います。



松井 隆幸
(まつい たかゆき)

大分県大分市出身。前副学長(評価担当)。現在、法文学部教授。専門は国際貿易論、ヨーロッパ経済論。主に戦間期における欧州通商政策について研究。

1960年代初頭に登場したグローバリゼーションという言葉は、今では私たちの生活の中にすっかり溶け込み馴染んできました。これまでグローバリゼーションがもたらしてきたものは何か。そしてこれからグローバリゼーションはどこに向かって進むのでしょうか。今日のグローバル化は政治、経済、文化、イデオロギーなど様々な分野で進展がみられますが、今回は主に経済的次元からみなさんと一緒に考えてみましょう。

東予会場



近廣 昌志
(ちかひろ まさし)

広島県市生まれ。現在、愛媛大学法文学部准教授。研究内容は内生的貨幣供給理論、銀行の預貸率に関する要因分析・国際比較、スタートアップ企業の資金調達。

2014年のマウントゴックス事件や2018年のコインチェック巨額流出事件などで、仮想通貨に怪しさを覚える人も少なくないでしょう。まずは仮想通貨の仕組みと「事件」の概要を説明し、仮想通貨の活用方法を紹介します。また、仮想通貨ブロックチェーン技術によって支えられていますが、この技術は、近い将来私たちの暮らしを大きく変える可能性が高く、この技術の活用で実現できることを、現行の貨幣経済が抱える課題と比較して考えてみましょう。



笹田 朋孝
(ささだ ともたか)

広島県出身。愛媛大学法文学部准教授。専攻は考古学。東北アジア地域の製鉄、幕末日本の近代産業化(反射炉・海軍所)など、人と鉄の関わりを研究。

モンゴル草原に生活する遊牧民たちはヒツジやヤギなどの家畜とともに季節的に移動するなど、定住農耕民である日本人とは大きく異なる、伝統的な文化を育んできました。この講義ではモンゴルでの最新の発掘成果に基づいて、モンゴルの遊牧民たちの三千年近い歴史を紐解きながら、遊牧民の歴史と文化を紹介するとともに、急激な民主化により大きく変容しつつある現在の遊牧民についても紹介したいと思います。



池 貞姫
(ち ちよんひ)

兵庫県出身。愛媛大学法文学部教授。専攻は、朝鮮語学・朝鮮語教育学。特に、日本語と朝鮮語間の訳語問題や戦後初期における在日朝鮮人の言語教育について研究。

今、マスコミが伝える北朝鮮は、政治や軍事に偏っており、歴史や芸術といった文化についてはあまり知る機会がないのが実情です。今回は、最近明らかになった北朝鮮の文化財(考古資料・陶磁器・仏像・絵画等)を通して、古(いにしえ)からの朝鮮半島の人々の生活や文化についてご紹介したいと思います。これらの文化財は、北朝鮮特有のものもありますが、むしろ北朝鮮・韓国の枠組みを超えた朝鮮半島文化の同質性がうかがえるものといえるでしょう。

南予会場



秋山 英治
(あきやま えいじ)

愛媛県出身。愛媛大学法文学部准教授。専攻は、日本語学。愛媛を中心とした四国の方言、日本語母語話者を対象とした日本語リテラシー教育を研究。

「坊っちゃん」といえば、愛媛・松山を舞台に、熱血教師が中学生と繰り広げる学園物語とされているのではないのでしょうか。しかし、どこにも「愛媛・松山」は出てきません。観光地では、「坊っちゃん」と「マドンナ」が恋人のように扱われていますが、本文には、会話の場面はありません。「坊っちゃん」が世に出て100年を超えた今、現代に生きる私たちはどのように読んでいけばよいのか、ここでもう一度考え直してみたいと思います。



田中 千晶
(たなか ちあき)

愛媛県出身。聖カタリナ学園高等学校教諭、愛媛大学法文学部非常勤講師。専攻は日本語学。方言話者の意識と、日本語教授法を研究。

平安時代末期から鎌倉時代初期という時代の変革期を生き、歌道における支配的地位を確立したのが藤原定家です。『新古今和歌集』と『新勅撰和歌集』という2つの勅撰集を選定したことで有名です。しかし、現代にまで後の名前が広く知られるきっかけとなったのは『小倉百人一首』と言えるのではないのでしょうか。その『小倉百人一首』をまな板にのせて、定家の和歌への思いを読み解き、「もの」の見方に迫ってみたいと思います。



檜林 建司
(ならばやし たけし)

兵庫県尼崎市出身。京都大学法学部、同大学院法学研究科を経て、1990年、愛媛大学助手。2013年より同教授。専攻は国際法(特にPKOなど)。

1951年、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) が発足しました。その時点では、UNHCR はごく小さな組織で、暫定的な性格のものと考えられていました。しかし、特に冷戦終結後、難民は大幅に増加し、現在では、UNHCR の支援対象となっている「難民」は、7000万人弱に達しています。本講義では、UNHCR の歴史を振り返りつつ、国連が現在の難民問題にどう対処しようとしているのかを解説し、日本が果たすべき役割についても検討します。

- 受講資格/原則として、県内に在住、もしくは勤務の方。 ○受講料/無料
- 申込方法/受講を希望される方は、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・希望会場をご記入のうえ、窓口または郵送、FAX でお申込みください。
※ 電子メールによるお申込を希望の方は、愛媛県生涯学習センターのホームページ (<http://www.i-manabi.jp/>) をご覧ください。
※ 定員に満たない講座は、開講日当日まで受け付けます。
- 受講の決定/※受講できる場合は、特にご連絡いたしません。

会 場	申込・問合せ先
愛媛大学 南加記念ホール (松山市) 所在地: 愛媛県松山市文京町 3 番 ※駐車場の数が限られております。 公共の交通機関等をご利用ください。	<h2 style="margin: 0;">愛媛県生涯学習センター</h2> <p style="margin: 0;">〒791-1136 松山市上野町甲 650 番地</p> <p style="margin: 0;">TEL (089) 963-2111 FAX (089) 963-4526</p> <p style="margin: 0;">Eメール top@i-manabi.jp</p> <p style="margin: 0;">ホームページ http://www.i-manabi.jp/</p>
愛媛県総合科学博物館 (新居浜市) 所在地: 愛媛県新居浜市大生院 2133-2	
愛媛県歴史文化博物館 (西予市) 所在地: 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2	